

# 平成27年度

## 建築都市局予算要求方針

### 【目次】

- 1 平成27年度建築都市局予算総括表及び経営方針・・・・・・・・P 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・P 5

# 1 平成27年度建築都市局予算要求総括表及び経営方針

## (1) 平成27年度建築都市局予算要求総括表

### 【一般会計】

平成27年度要求総額 21,884,725千円  
 (平成26年度予算額 21,688,751千円)  
 前年度比 +0.9%

### 《主な事業》

(単位：千円)

局の柱	事業名	平成27年度 予算要求額 A	平成26年度 予算額 B	増減 A-B
(1)	折尾地区総合整備事業 (連続立体交差・街路事業等)	4,634,000	3,761,200	872,800
	【参考】(折尾土地区画整理事業)	977,000	1,167,400	▲190,400
	(土地取得特別会計)	601,000	0	601,000
	一般会計+特別会計の合計	6,212,000	4,928,600	1,283,400
	スタジアム整備事業	380,200	1,177,000	▲796,800
	小倉駅南口東地区市街地再開発事業	1,796,060	105,200	1,690,860
	○新 公共施設跡地活用事業	319,827	0	319,827
(2)	○新 若戸大橋安全対策推進事業(基金事業)	200,000	0	200,000
	○新 若戸大橋・若戸トンネル維持管理支援事業	200,000	0	200,000
	環境首都総合交通戦略の推進	2,080,387	1,711,407	368,980
(3)	城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業	1,593,000	1,721,200	▲128,200
	住宅街区のスマート化促進事業	69,300	17,000	52,300
	○拓 住まい向上リフォーム促進事業	200,000	200,000	0
(4)	○新 住むなら北九州子育て・転入応援事業	28,700	0	28,700
	○拓 老朽空き家等除却促進事業	75,000	50,000	25,000
	○新 老朽空き家対策計画策定等事業	10,420	0	10,420
	○新 景観重要建造物の保存・整備事業	6,000	0	6,000
(5)	公共施設長寿命化検討事業	28,821	15,500	13,321
	公共施設マネジメント推進事業	27,830	8,600	19,230
	○新 都市計画マスタープラン推進事業	20,500	0	20,500
(6)	民間建築物耐震改修費等補助事業	146,700	106,000	40,700
	市営住宅耐震改修事業	1,011,400	669,100	342,300

※局の柱番号の内容については4頁に記載

**【北九州市土地区画整理特別会計】**

平成27年度要求総額 1,488,000千円  
 (平成26年度予算額 1,680,000千円)  
 前年度比 ▲11.4%

**《主な事業》**

(単位：千円)

事業名	平成27年度 予算要求額 A	平成26年度 予算額 B	増減 A-B
折尾土地区画整理事業	977,000	1,167,400	▲190,400

**【北九州市土地区画整理事業清算特別会計】**

平成27年度要求総額 1,100千円  
 (平成26年度予算額 1,300千円)  
 前年度比 ▲15.4%

**【北九州市住宅新築資金等貸付特別会計】**

平成27年度要求総額 42,000千円  
 (平成26年度予算額 53,500千円)  
 前年度比 ▲21.5%

**【北九州市土地取得特別会計】**

平成27年度要求総額 601,000千円  
 (平成26年度予算額 0千円)  
 前年度比 皆増

**【北九州市駐車場特別会計】**

平成27年度要求総額 418,000千円  
 (平成26年度予算額 409,000千円)  
 前年度比 +2.2%

**【北九州市学術研究都市土地区画整理特別会計】**

平成27年度要求総額 3,591,000千円  
 (平成26年度予算額 3,304,000千円)  
 前年度比 +8.7%

(単位：千円)

事業名	平成27年度 予算要求額 A	平成26年度 予算額 B	増減 A-B
北九州学術・研究都市北部 土地区画整理事業	2,233,300	1,720,600	512,700
地方債償還	1,224,780	1,451,780	▲227,000

## (2) 平成27年度建築都市局経営方針

建築都市局においては、「元気発進！北九州」プランの基本方針に加えて、特に重点的に取り組むべき5つの政策や「北九州市新成長戦略」も踏まえ、「活力のあるまち」、「環境にやさしいまち」、「暮らしやすい安全なまち」を実現します。

### I 活力のあるまち

#### (1) 都市の発展を支える拠点地区の整備

- ・折尾地区や北九州学術研究都市北部などの基盤整備や、良質な市街地住宅の供給を促進します。

#### (2) 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化

- ・若戸大橋・若戸トンネル無料化の実現や環境首都総合交通戦略の推進に取り組み、環境首都にふさわしい交通ネットワークの実現をめざします。

### II 環境にやさしいまち

#### (3) 地域からの低炭素社会への取り組み

- ・城野ゼロ・カーボン先進街区を形成するとともに、既存住宅のエコ化やバリアフリー化などに対する助成を行い、良質な住宅・建築ストックの形成を図ります。

### III 暮らしやすい安全なまち

#### (4) 快適に暮らせる身近な生活空間づくり

- ・老朽空き家等の対策や市民との協働による景観づくりなどに取り組みます。

#### (5) 都市基盤・施設の効率的な活用・整備

- ・公共施設マネジメントを着実に推進するとともに、コンパクトシティ形成のための立地適正化計画を策定する等北九州市都市マスタープランの見直しに着手します。

#### (6) 安全で安心できるまちづくり

- ・災害に強いまちづくりを推進するため、民間建築物耐震改修費等補助などを行います。

## 2 重点的に取り組みを行う主なもの

### (1) 都市の発展を支える拠点地区の整備

#### ① 生活支援拠点の充実

V-1・継続

・折尾地区総合整備事業 6,212,000 千円

折尾駅周辺連続立体交差事業・街路事業等 4,634,000 千円

折尾土地区画整理事業 977,000 千円

土地取得特別会計 601,000 千円

折尾駅周辺の鉄道高架工事を引き続き行うとともに、筑豊本線高架工事や駅周辺の道路改築工事に着手します。あわせて、堀川町地区の宅地整備工事などを行います。

また、折尾警察署跡地については有効活用を図るため、事業者を公募により決定し、跡地を売却します。

#### ② 都心・副都心の活性化

Ⅲ-2・継続

・スタジアム整備事業 380,200 千円

本市の新たなシンボル施設となる北九州スタジアムについては、平成29年3月の供用開始に向けて、前面道路の移設工事を引き続き実施するとともに、スタジアム本体工事に着手します。

V1・継続

・小倉駅南口東地区市街地再開発事業 1,796,060 千円

小倉城口にふさわしい都市機能の集積と土地の高度利用を図るため、市街地再開発事業の施行者に対して、地権者への補償、既存建物の解体工事費等について一部を補助するほか、公共施設整備に係る部分を負担します。

V-3・新規

・公共施設跡地活用事業 319,827 千円

八幡西区役所跡地の早期の有効活用を図るため、既存建物を解体し、公募により民間へ売払を行います。

#### ③ 戦略的拠点の機能強化

V-1、VI-4・継続

・北九州学術・研究都市北部土地区画整理事業 2,233,300 千円

江川沿いの塩屋地区、小敷地区の宅地整備及び道路築造工事を行います。これにより、平成27年度末に基盤整備は概成します。

## (2) 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化

### ① 市民生活や産業活動を支える道路・交通ネットワークの整備

V-2・新規

・若戸大橋安全対策推進事業（基金事業） 200,000 千円

若戸大橋の安全性や走行性の向上を図るため、北九州市道路公社が実施する改修工事に対して補助金を交付します。

V-2・新規

・若戸大橋・若戸トンネル維持管理支援事業 200,000 千円

若戸大橋、若戸トンネルの維持管理費用の一部を北九州市道路公社に対して補助し、両道路の平成 30 年までの無料化の実現に繋がります。

### ② 利便性の高い交通ネットワークづくり

V-2・継続

・環境首都総合交通戦略の推進 2,080,387 千円

過度のマイカー利用から地球環境にやさしい公共交通への利用転換を促すため、公共交通利用促進への意識改革を図るモビリティ・マネジメント、公共交通サービスの向上を図る交通事業者の連携強化、市民の足の確保を図るおでかけ交通への支援など、公共交通の利用促進や利便性向上に取り組めます。

### (3) 地域からの低炭素社会への取組み

#### ① 低炭素社会を実現するストック型社会への転換

VI2・継続

- ・城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業 1,593,000 千円

平成 27 年度末の「まちびらき」に向け、自由通路の上屋や昇降機設置、及び駅前広場等の整備を行います。また、土地区画整理事業においては、道路整備や電線類地中化、雨水整備などの基盤整備を行います。

VI2・継続

- ・住宅街区のスマート化促進事業 69,300 千円

城野地区においてタウンマネジメント及びエネルギーマネジメントを導入するとともに、低炭素に寄与する取組みに対し助成を行います。

○エネルギーマネジメントシステムの構築に対する補助金 1/3 以内

○ゼロ・カーボン住宅整備に対する補助金 戸建住宅 40 万円、集合住宅 20 万円

IV-2、VI-2  
拡充

- ・住まい向上リフォーム促進事業 200,000 千円

質の高い社会資産となる住宅ストックの形成と活用を促進するため、既存住宅のエコ（環境対策）や子育て、高齢化への対応、安全・安心に資するリフォーム工事に要する費用の一部を補助します。

平成 27 年度からは、地元企業の建築資材や製品を活用したリフォームに対し補助を行う「地元応援工事」を新たに補助メニューに加えます。

### (4) 快適に暮らせる身近な生活空間づくり

#### ① 彩のあるまちづくり

Ⅲ-1・新規

- ・住むなら北九州 子育て・転入応援事業 28,700 千円

既存住宅ストックを活用し、子育て世帯や新婚世帯など若い世代の人口増加を促進するため、一定の要件を満たす街なか民間賃貸住宅や空き家バンク登録住宅に転入する若年世帯に対し、住宅の賃借又は購入費用の一部を助成します。



Ⅲ-1・拡充	・老朽空き家等除却促進事業	75,000 千円 (うち拡充分 25,000 千円)
	住環境の改善を図るため、一定基準を満たす老朽空き家等について、除却費の一部を助成します。平成27年度は補助件数の拡大を図ります。	

Ⅲ-1・新規	・老朽空き家対策計画策定等事業	10,420 千円
	「空家等対策の推進に関する特別措置法」の制定を受け、本市の「空き家等対策計画」を策定します。	

## ② うるおいのある空間づくり

Ⅲ-1、V-3・継続	・市民との協働による景観づくり	14,500 千円
	地域主体の景観づくりの取り組みを積極的に支援するとともに、都市景観賞を開催するなど、景観意識の向上等に取り組みます。	

Ⅲ-1・新規	・景観重要建造物の保存・整備事業	6,000 千円
	景観法に基づき指定した景観重要建造物が、将来にわたり適切に保存されるよう、特徴的な外観などを保全する修理等に対する補助制度を創設します。	

# (5) 都市基盤・施設の効率的な活用・整備

## ① 都市基盤・施設の整備と維持管理

V-3・継続	・公共施設長寿命化検討事業	28,821 千円
	現在作成中の中長期保全計画の施設データの更新や、市有建築物に長寿命化を実施した場合の経費縮減額等の効果検証を行います。	

## ② 既存ストックの活用

V-3・継続	・公共施設マネジメント推進事業	27,830 千円
	北九州市行財政改革大綱及び推進計画に基づき、「施設分野別実行計画」及び「モデルプロジェクト地域における公共施設再配置計画」の策定を行います。	

V-3・新規	・都市計画マスタープラン推進事業	20,500 千円
	人口減少や高齢化の進展を見据え、将来も地域の活力を維持・増進し、都市を持続可能なものとするため、コンパクトシティ形成のための立地適正化計画を策定する等、北九州市都市計画マスタープランの見直しに着手します。	

## (6) 安全で安心できるまちづくり

### ① 災害に強いまちづくり

Ⅱ-1・継続

#### ・民間建築物耐震改修費等補助事業

146,700 千円

民間建築物の耐震化を促進するため、一定の要件に該当する木造住宅や、マンション、多数の市民が利用する特定建築物の耐震化に要する費用の一部を補助します。

特に平成 27 年度末までに耐震診断が義務付けられた特定建築物に対する支援については、重点的に対応します。

Ⅱ-1・継続

#### ・市有建築物耐震化推進事業

24,700 千円

市の耐震改修促進計画に基づき、市有特定建築物の耐震化を推進します。耐震性能が不足する市有建築物について、耐震補強計画及び実施設計を行います。

Ⅱ-1・継続

#### ・市営住宅耐震改修事業

1,011,400 千円

耐震改修の必要な市営住宅について、耐震改修工事を行います。平成 27 年度は 990 戸（38 棟）の工事を行います。